

# 各論

## 第1章 生きがいづくりや社会参画の促進

- 1 地域活動への参画促進
  - (1) 老人クラブ活動への参加促進
  - (2) ボランティア・NPO活動等への参加促進
- 2 スポーツ・芸術・文化機会の確保
  - (1) 生涯学習の推進
  - (2) 生涯スポーツの推進
- 3 就業の促進

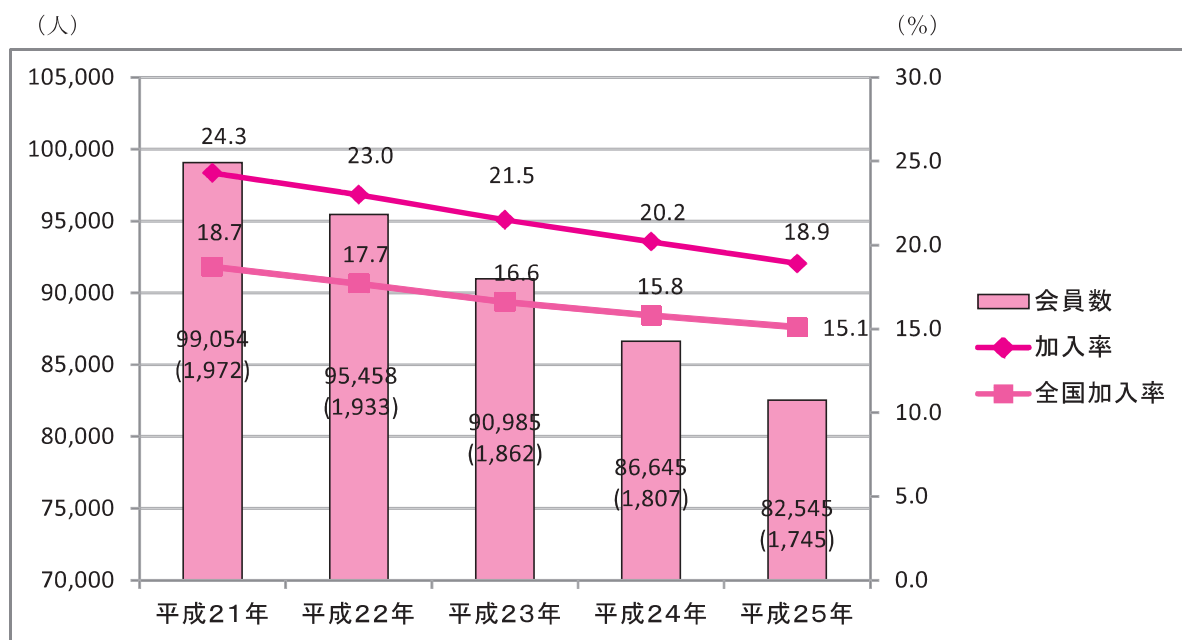
## 1 地域活動への参画促進

### (1) 老人クラブ活動への参加促進

#### ■現状と課題

- ① 高齢化が進み、一人暮らしの高齢者等が増加する中、自らの健康づくりや仲間づくり、地域貢献活動などを行う老人クラブの担う役割はますます重要になっています。
- ② 一方、平成25年度末の老人クラブ数及び会員数は、1,745クラブ、82,545人ですが、60歳以上人口に占める加入率は18.9%となっており、近年、老人クラブ数、会員数と併せ、加入率についても減少傾向にあります。
- ③ そのため、老人クラブが高齢者の活躍の場となるよう、魅力ある活動を行うクラブづくりや広報活動の展開などにより加入を促進する必要があります。

[図1-1] 老人クラブ会員数と加入率



(注) 1. 厚生労働省「福祉行政報告例」に基づき計算  
 2. ( ) 書きは老人クラブ数

[表1-1] 老人クラブ加入率全国順位

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
加入率(大分県)	24.3	23.0	21.5	20.2	18.9
加入率(全国)	18.7	17.7	16.6	15.8	15.1
全国順位	19	18	18	19	19

■ 施策の方向

- ① 高齢者の孤立防止、認知症高齢者や子どもの見守り等の「友愛活動」、生活支援サービスなど、地域社会を支える老人クラブ活動を促進します。
- ② 老人クラブ加入率の向上に向けた普及啓発や活性化のための現状分析、休会・解散クラブの現状把握や復活活動、団塊の世代など若手高齢者の入会促進などによりクラブの活性化を促進します。
- ③ 県老人クラブ連合会が行う老人クラブ活動の推進や指導などの取組を支援します。



(老人クラブによる交通指導：大分市)



(老人クラブによるリサイクル活動：宇佐市)

■ 目標指標

指 標 名	単 位	平成24年	平成29年
		基準値 (目標値)	目標値
老人クラブ加入率全国順位	位	19 (18)	16

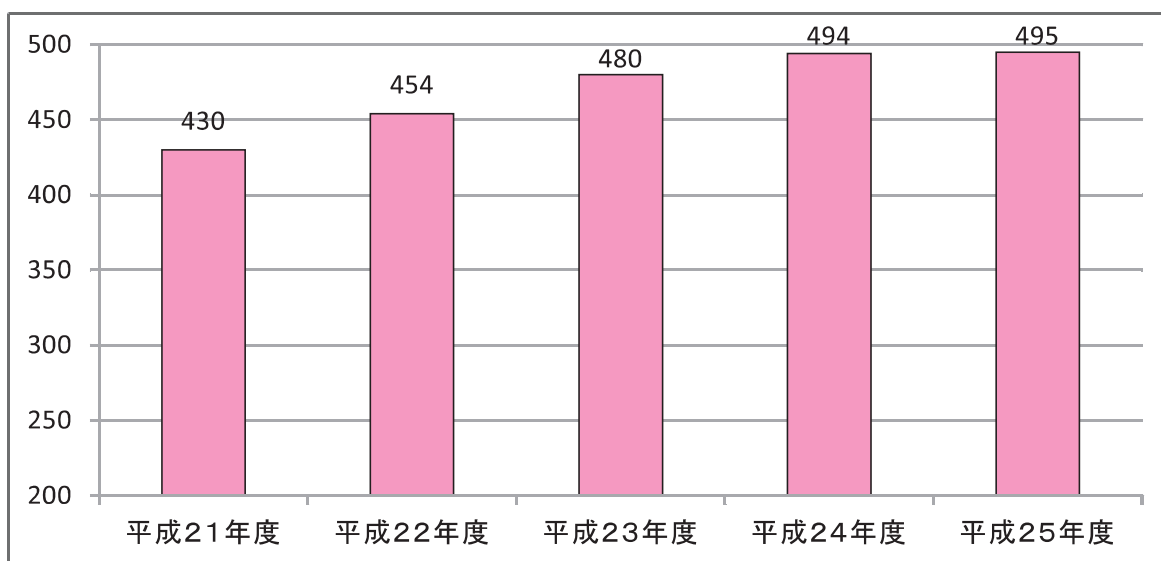
## 1 地域活動への参画促進

### (2) ボランティア・NPO活動等への参加促進

#### ■現状と課題

- ① 地域における多様なニーズに対応するため、ボランティアやNPO活動がさまざまな形で進められ、その地域に果たす役割や期待がさらに大きくなっています。そうした中、NPO・企業・行政がそれぞれの特性を生かして協働することにより、社会や地域の課題解決につなげることが求められています。
- ② 地域の課題を自ら解決しようとする県民や優れた経験・技術を持った高齢者等が、その意欲や技術をボランティアやNPO活動に生かすことは、社会貢献とともに、本人の「生きがい」や「喜び」につながります。
- ③ 高齢者等が地域を支える重要な人材として地域活動に興味を持ち、積極的に参加できるように、各種ボランティア登録制度や養成研修、NPO活動などの情報提供や相談対応を行うとともに、参画しやすい仕組みづくりが必要です。

[図1-2] 大分県内の特定非営利活動(NPO)法人数の推移 (各年度3月末現在)



[表1-2] 大分県内特定非営利活動(NPO)法人の活動分野上位5つ (複数選択可)

(平成26年3月末現在)

区分	1位	2位	3位	4位	5位
活動分野	保健・医療・福祉	まちづくり	社会教育	NPOへの支援	子どもの健全育成
NPO数	312	292	272	266	263

(注) 大分県県民活動支援室調べ

■ 施策の方向

- ① NPO法人の設立・運営に関する相談体制の整備や、「大分県ボランティア・市民活動支援センター」と連携して、退職者や高齢者が持つ知識や技術をボランティアやNPO活動に生かせる仕組みの構築を目指すとともに、行政・企業・NPO等で構成される「大分県協働推進会議」において、協働のあり方について検討します。
- ② 市町村や市町村社会福祉協議会等と連携して、高齢者等がボランティアやNPO活動へ参画するための講座を実施するなど、ニーズ（地域の課題）とシーズ（ボランティア希望者）が円滑にマッチングするような仕組みを構築します。
- ③ 高齢者が地域において積極的にボランティア・NPO活動等を行えるよう、おおいたNPO情報バンク「おんぼ」や、大分県ボランティア・市民活動センターの情報サイト等を通じて、ボランティア団体やNPOの活動内容、各種研修会の開催状況などの情報を提供します。



(災害ボランティア活動：日田市)



(森づくりボランティアの様子：NPO法人)

■ 目標指標

指標名	単位	平成26年度	平成29年度
		基準値	目標値
65歳以上の高齢者のボランティア登録者数	人	18,173	18,800

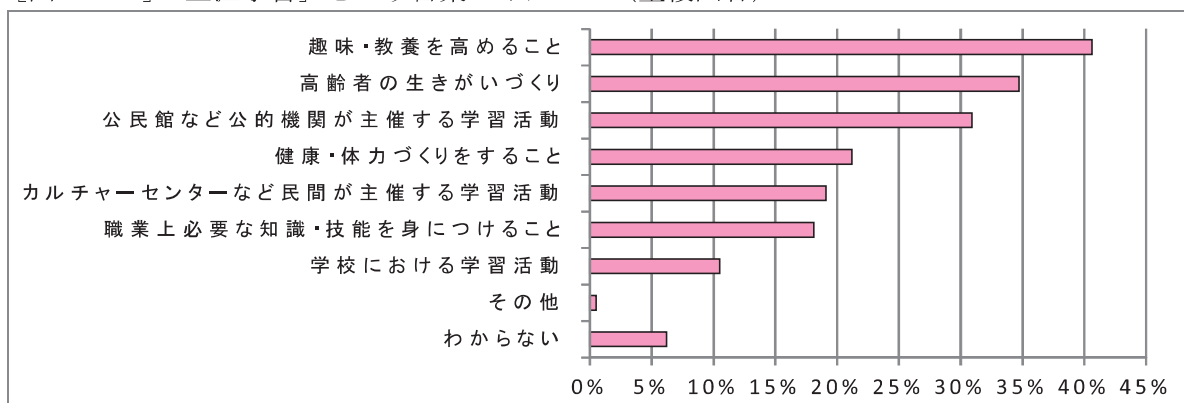
## 2 スポーツ・芸術・文化機会の確保

### (1) 生涯学習の推進

#### ■現状と課題

- ① 生涯学習<sup>\*1</sup>・社会教育<sup>\*2</sup>は、地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習などを通じて、教養の向上や健康の増進等を図り、人と人との絆を形成する役割を果たしてきました。社会を生き抜く力の養成や、絆づくりと活力あるコミュニティの形成等を進める上で、生涯学習・社会教育が果たす役割は重要となっており、高齢者にとって生きがいのある豊かな人生につながるものです。
- ② 高齢者へ多様な学習機会を提供できるよう、県や市町村、大学、NPO、民間事業者等が幅広く連携する必要があります。また、公民館や図書館、博物館などの生涯学習関連施設の充実や指導者の養成、情報提供体制の整備等、学びの環境の充実を図ることも求められます。
- ③ 生涯学習の推進にあたっては、本人の学習が個人的な満足感にとどまることなく、その学習成果が学校や地域社会に生かされるようにすることが大切です。

[図1-3] 「生涯学習」という言葉のイメージ (重複回答)



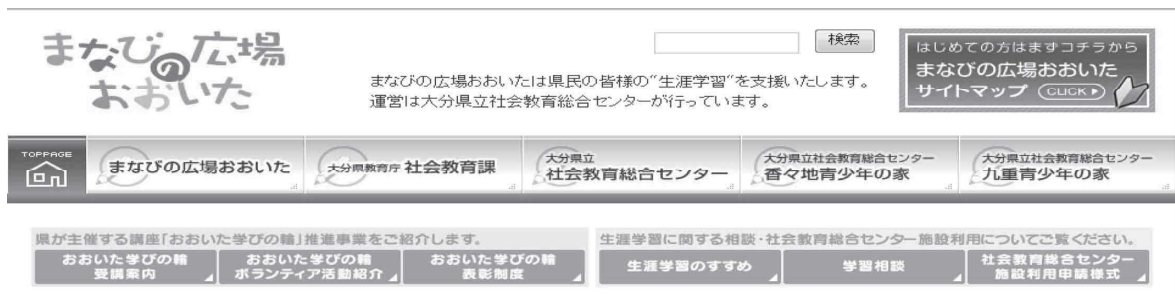
(注) 内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成24年)



(高齢者の授業への参加)

■ 施策の方向

- ① 学習機会を提供する様々な機関、事業者等と幅広く連携した公開講座やセミナーの実施とともに、課題解決のためのレファレンス<sup>※3</sup>を行う県立図書館や今日的課題に関する学習プログラムの作成及び指導者研修を行う県立社会教育総合センター等の機能強化を図り、高齢者の生涯学習を総合的に推進します。
- ② 講座や講師情報などが一元的に確認できる生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」<sup>※4</sup>を通じた幅広い情報提供により、高齢者をはじめとする多くの方の受講を促進し、地域活動やボランティア等で活躍する地域人材を育成します。
- ③ 地域活動やまちづくりをはじめ、子どもの学習活動や体験活動等への高齢者の参加を促進するなど、学習成果を生かせる場の充実を図ります。



(生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」サイト)

■ 目標指標

指標名	単位	平成25年	平成29年
		基準値 (目標値)	目標値
生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」へのアクセス件数	件	305,449 (344,000)	443,000

※1. 生涯学習：人が生涯を通じて行うあらゆる学習(学校教育・社会教育・文化活動・スポーツ・趣味など)  
 2. 社会教育：学校教育として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む)  
 3. レファレンス：利用者の質問や相談等に、司書が所蔵資料等を活用して調査し、資料や情報の提供などを行う図書館サービス  
 4. 「まなびの広場おおいた」：県民の多様な学習ニーズに応えるため、インターネットを利用した学習に関する講師や講座、施設などの情報を提供するシステム



## 第1章 生きがいづくりや社会参画の促進

### 2 スポーツ・芸術・文化機会の確保

#### (2) 生涯スポーツの推進

##### ■現状と課題

- ① 本県における60歳以上の方の運動・スポーツ活動の実施状況(週1回30分以上)や今後の実施意向の割合は、近年、上昇傾向を示しており、高齢者の生涯スポーツ<sup>※1</sup>に取り組む意識は高まっています。
- ② 身近な地域で日常的な運動・スポーツ活動の場として創設された「総合型地域スポーツクラブ」<sup>※2</sup>の会員数は年々増加しています。他方、その認知度については、全体で30.3%(平成25年)と、決して高いものとは言えない状況にあることから、その普及・啓発が必要です。
- ③ また、日頃の運動・スポーツ活動の成果を発表する機会を確保するため、「豊の国ねんりんピック」や「県民すこやかスポーツ祭」などの充実を図る必要があります。

[表1-3] 運動・スポーツ活動の実施状況

(単位：%)

区 分		60歳代	70歳代	80歳代	全体
運動・スポーツ活動実施状況 (週1回30分以上の実施割合)	平成25年	50.4	48.7	38.4	40.5
	平成19年	36.8	36.7	22.0	29.8
今後の運動・スポーツの実施意向 (週1回30分以上の意向割合)	平成25年	75.5	71.1	56.4	70.6
	平成19年	58.4	50.0	36.6	52.3
総合型地域スポーツクラブ認知度 (知っている人の割合)	平成25年	30.6	41.5	36.8	30.3
	平成19年	36.6	39.1	31.6	30.5

(注) 大分県教育委員会調査(平成19、25年度)

[表1-4] 総合型地域スポーツクラブの会員数

区 分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
総 会 員 数(人)	11,947	13,949	14,922	15,614	16,090
60歳以上の会員数(人)	3,341	4,433	4,906	5,382	5,664
60歳以上の割合(%)	28.0	31.8	32.9	34.5	35.2

(注) 文部科学省調査(各年度7月1日現在)

■ 施策の方向

- ① 高齢者の日常的な運動・スポーツ活動を推進するため、「総合型地域スポーツクラブ」の育成とともに、加入の促進を図ります。
- ② 高齢者を中心としたスポーツや文化の祭典である「豊の国ねんりんピック」の実施内容の充実、全国健康福祉祭への県選手団の派遣、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる「県民すこやかスポーツ祭」等の各種スポーツイベントへの積極的な参加の促進など、日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会を確保するとともに、世代を超えた交流を図ります。



(豊の国ねんりんピック：大分市)



(総合型地域スポーツクラブ：中津市)

■ 目標指標

指 標 名	単位	平成25年	平成29年
		基準値 (目標値)	目標値
豊の国ねんりんピック (スポーツ・文化) 参加者数	人	5,508 (5,600)	5,900

- ※1. 生涯スポーツ：生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツ
- 2. 総合型地域スポーツクラブ：幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツ等に触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ

## 第1章 生きがいづくりや社会参画の促進

### 3 就業の促進

#### ■現状と課題

- ① 少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少が進む中で、高齢者がその豊かな知識や経験を生かし、生涯現役で働き続けることができるよう就業環境を整備することが必要です。
- ② そのため、多様な形態による雇用・就業を促進するとともに、高齢者の雇用・就業に対し総合的な支援を行っていくことが重要です。
- ③ 県内には、現在、定年退職後等において、臨時・短期的な就業を希望する高齢者に対して就業の機会を提供するシルバー人材センターが、14か所設置され、14市2町の高齢者が利用していますが、会員及び仕事の受注量の拡大や会員に対する研修などの充実を図る必要があります。

[表1-5] シルバー人材センターの状況

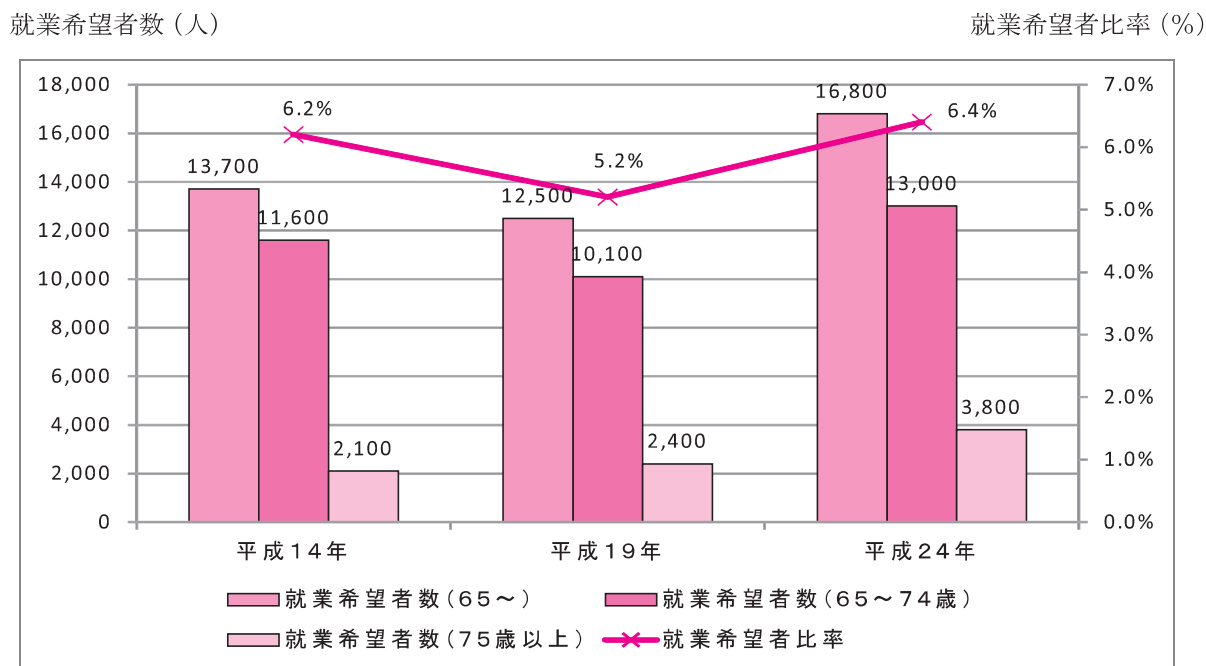
(単位：人)

区 分	会員数	就業実人員	就業延人員
(公社) 大分市シルバー人材センター	1,385	1,017	99,811
(公社) 別府市シルバー人材センター	453	420	57,839
(公社) 中津市シルバー人材センター	469	396	32,357
(公社) 日田市シルバー人材センター	315	202	23,609
(公社) 臼津地域シルバー人材センター	431	358	42,562
(公社) 佐伯市シルバー人材センター	397	318	31,719
(公社) 宇佐市シルバー人材センター	471	383	32,126
(公社) 豊肥地域シルバー人材センター	529	488	42,152
(公社) 国東市シルバー人材センター	270	255	18,353
(公社) 豊後高田市シルバー人材センター	145	126	17,388
(公社) 由布市シルバー人材センター	184	160	12,382
(一社) 杵築市シルバー人材センター	119	101	8,775
日出町シルバー人材センター	115	107	7,971
玖珠町シルバー人材センター	79	60	1,778
計	5,362	4,391	428,822
平成23年3月31日会員数(平成22年度就労人員)	5,863	4,729	455,068
増減	数	△ 501	△ 338
	伸び率	△9.3%	△7.7%

(注) 大分県シルバー人材センター連合会資料

会員数は平成26年3月31日現在、就業人員は平成25年度の数値

[図1-4] 高齢者の就業希望状況



(注)総務省「就業構造基本調査」(平成24年)

### ■施策の方向

- ① 生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の活躍の機会を拡大し、その能力を存分に発揮できるよう、再就職支援の強化や地域の多様なニーズに対する就労環境の整備を推進します。
- ② 高齢者雇用の安定に関する国の施策の周知徹底を図るなど、高齢者がその希望に応じて多様な形態で働くことができる環境づくりを積極的に推進します。
- ③ 長年培った高齢者の技術や技能が社会に生かせるよう、シルバー人材センターの会員の拡大や仕事の受注量の確保に向けた広報・啓発活動を推進します。
- ④ 高齢化の進展に伴う福祉分野の労働力不足の補てんとともに、高齢者の持つ能力や経験を生かした福祉分野への参入を推進するため、大分県シルバー人材センター連合会が県内の各シルバー人材センター会員及び60歳以上で介護支援や生活支援を学びたい方を対象とした福祉分野に係る講習会などを実施します。